



# Positive Parenting Program

トリプルP

～前向き子育てプログラム その理論と実践～

トリプルPは、幼児からティーンエイジャーまでの子どもの行動・情緒問題の予防と治療を目的に作られました。プログラムで使用される17の技法の半数以上が、前向きな関係・態度・行動の形成に焦点が置かれています。トリプルPは、家庭・学校・地域で子どもの問題が発生する前に予防すること、そして子どもたちの可能性を發揮させるために彼らを励ます家庭環境を作り出すこと、をゴールとしています。25年の研究と臨床試験に基づいて、近年、トリプルPは世界中の政府や保健部門の専門家に採用されてきています。以下の6つが、プログラムの主な特徴といえます。

【プログラムの内容】

- ・トリプルPの概要  
国立保健医療科学院  
加藤則子
- ・トリプルPの実践から  
タドルわかやま  
家本めぐみ
- ・各地の取り組み  
NPO法人トリプルP  
ジャパン  
志村光一

子育て・家族支援の順応性のあるシステム Flexible system of parenting and family support	根拠に基づく Evidence-based
予防/早期介入アプローチ Prevention / early intervention approach	過不足のない十分な量を信条とする Principle of sufficiency
5段階の介入レベル Five intervention levels of increasing intensity	多様な専門家によるアプローチ Multidisciplinary approach

日時 11月5日(水曜日) 18:00 ~ 20:00

場所 福岡国際会議場 411 会議室

アクセス 博多駅 博多駅センタービル前 バス停Eのりば(福銀前)88番、89番 (バス約11分)  
西鉄・福岡(天神)駅下車・地下鉄天神駅下車 天神ソラリアステージ前バス停2Aのりば80番 (バス約9分)

いずれの場合も、以下で下車  
 (博多ふ頭行き : 国際センター・サンパレス前下車)  
 (中央ふ頭行き : 国際会議場・サンパレス前下車)

参加 自由・無料

加藤 則子 (国立保健医療科学院生涯保健部)  
 新小田 春美 (九州大学医学部保健学科)  
 梅野 裕子 (NPO法人トリプルPジャパン代表)

国立保健医療科学院生涯保健部  
 加藤 則子  
 tel:048-458-6191  
 fax:048-469-3716

共催 NPO法人 Triple P Japan  
 連絡先 : 070-5012-1839 (担当 : 志村)  
 (大会開催中)